

令和2年7月31日（金）

保護者 様

北本市立宮内中学校
校長 加藤 秀樹

家庭でのスマートフォン等SNS、ゲームの利用について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨今、中学生のスマートフォン等の所持率が高くなり、ゲーム依存や人間関係のトラブル（特にLINE、twitter、Instagram等）が多くなっているのが現状です。本校でも「宮中ネットコンパス」（裏面）を定め、スマートフォン等の正しい使い方や人間関係の築き方を伝えてまいりましたが、臨時休業を含む1学期中に、ゲーム・ネット依存を含むいくつかのトラブルが見られました。

そこで、各御家庭におかれましても、お子様にスマートフォン、携帯端末等を使用させる場合は、ルールを明確に決めていただき、規則正しい生活を身に付けるとともに、トラブルを未然に防げるような手立てをお願いいたします。

明日から夏休みに入り、時間にゆとりが生まれます。有意義に過ごすために、ぜひ、御検討していただければと存じます。

下記は、使用するルールを決める際の参考としてください。

- 例) 午後9時以降は保護者が預かります。
 午後9時以降はLINE、twitter、Instagram、ゲームを行いません。
 1日の使用時間は3時間以内とします。（習い事等の送迎で必要な場合は除く）
 使用時間については、プロバイダーによる制限をかけます。
 危険なサイトにアクセスしません。
 いじめや非行の疑いがある画像はスクリーンショットで記録します。
 「フィルタリング」サービスを設定します。
 週に1回、使用状況を保護者が確認します。

以上の内容が守れない場合は、スマートフォン等携帯端末の使用を禁止とします。

など

埼玉県教育委員会からの注意喚起です。御一読ください。

【ネットトラブル対応の考え方】

ネットでのトラブルは、大人の目に留まりにくい特徴があります。ネット上に文字や画像が残り、児童生徒が心に受けるダメージも消えず、気付いた時には事態が深刻化している場合もあります。

また、ネットでの書き込みが炎上し、瞬く間にネット上でまとめられ、個人情報さらされる場合もあります。※近年、ハッキング等の技術が巧妙になっています。

ひとたびそのような状態になると、収束させるのは容易ではありません。ネットいじめやネットトラブルについては、何よりも日頃からの未然防止の取組が重要です。

さらに、犯罪性が考えられる場合は、早期に警察等関係機関への相談を検討することも必要です。

これからのネット時代を生き抜くために

☆よりよい生活のために～日々の生活から気を付けたいこと～

- 毎日、爽やかなあいさつを心掛ける。
- 相手を考えた言動をする。
- コミュニケーションを増やす。(家族、友人などとの会話をする)
- 約束ごとは誤解が生じないように決める。(集合時間や場所など)
- 生活リズムを整える。(学習時間の確保、体調管理の徹底)
- 時間を有効活用する。

☆ネットと上手に付き合い、行き抜くために

○推奨～よりよいネット活用のために～

- 家族とのコミュニケーションに使用する。
- 勉強で分からないところを調べる
- 最新情報を調べる。
- SNS等を活用し、友達とのつながりを楽しむ。
- 見ることができなかったテレビ番組をあとから見る。

○義務～危険から身を守るために～

- 親と相談して、ルールをしっかりと決める。(使用制限やフィルター)
- 正しい情報を判断する力をつける。(情報をうのみにしない)
- SNS等でのトラブルへの知識を得る。
- 何かあったらすぐに大人に相談する。
- 個人情報やプライバシーの管理を徹底する。
- ネット上で知り合った人とは直接会わない。
- あやしいサイトは閲覧しない。

○制限～確かな判断力を身につけるために～

- 使う限度を考え、使いすぎないようにする。(視力の低下を防ぐ)
- 使う場所を決める。(歩きスマホをしない)
- 勉強する時は、スマホの着信音を消したり、見えない位置に置いたりする。
- メッセージを送るときは、しっかりと見直してから送る。(スタンプや絵文字等)